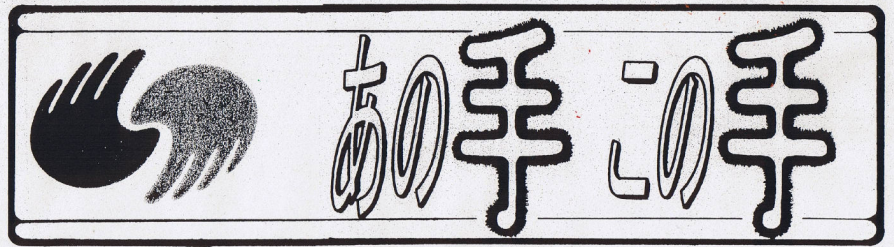


カッコーフェスタ2007

交流まつり11/3(土)4(日)実施

ご参加ありがとうございました。



第11号 2007年11月30日発行

12月4日から毎週火曜日「FMやまと」に生出演決定！  
SUNNY-SIDE MORNING(9:05~9:25)



表紙のイラストは「FM やまと」のスタジオでの10/26(金)の放送風景です。SUNNY-SIDE MORNINGに緊張して出演している協働の拠点運営委員の山田(右)、鈴木(左)。この様子を樋口太郎さんに描いていただきました。インタビューは「あなたのジョニー」こと天沼さん。

\* 樋口太郎さんは今年の「大和市文化祭一般公募展」の絵画の部で、秀作賞を受賞されました。3年連続の受賞です。ボランティア活動にも熱心で、老人ホームで絵手紙の指導をされています。

### 『大和市新しい公共』

大和市民活動センターは『大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例』に定められた協働の拠点です。多くの市民、市民団体、事業者の参加により、一人ひとりの「私」を大切にしながら、共に育ちあえる、みんなが共生するまち大和市を実現するために、あらゆる分野の市民活動を推進・応援しています。

市民・市民団体・事業者及び市との交流・共育を推進しています。  
(会則 4-1 事業)

月1回、お茶を飲みながらの『おしゃべりラウンジ パルス』では自分の団体名を背負わない個人が輝いています。年1回の市民交流活動まつり『カッコーフェスタ』。今年のテーマは「ワタシを大事に〜でした。私を大事にしながらも他者を大事にしている皆さんの姿を見ることができました。

市民活動に関する情報の収集及び提供を行っています。  
(会則 4-2 事業)

市民活動センターには所狭しと各団体のチラシが並んでいます。きっと自分が探している情報がありますよ。一度お立ち寄りください。また、この広報誌『あの手この手』もサポーター、運営委員、スタッフの「あの口この口」で作っています。あなたも熱血編集後記を書いてみませんか。

そして、センターの運営も市との協働事業として公募の市民が協働の拠点運営委員会を組織し行っています。市民の力を結集し、あの手この手で下記の事業を展開しています。ぜひ、皆さまの時間・知恵・技もお貸しください。

「社会資源」の創出及び発信を行っています。(会則 4-3 事業)  
それぞれが持っている時間、情報、知恵、技などが公共に開かれたとき貴重な社会資源となります。今年度はそういった社会資源を集めた市民活動団体ガイドブックを作成し、市内各所に配置します。また、市民活動の現場を訪問し社会資源の発掘をしていきます。皆さんの中に眠っている社会資源を起こすのもセンターの使命です。

市民活動及び協働事業に関する相談や団体の課題をいっしょに解決する市民活動共有マネジメントセミナーを開催しています。(会則 4-4 事業)  
今まで仲間づくり・資金づくり、団体の会計処理、効果的なリーフレットの作り方、NPO と法制度、助成金申請書に書き方と5回開催しています。とりあげて欲しいテーマがありましたらお知らせください。お待ちしております。



# 活かされました つながりの手 ひろがりました 交流の輪

今年のテーマは、～ワタシを大事に～

今年のフェスタへのお誘いでは変化がありました。「FMやまと」とケーブルTV「メディアアッティかながわ」の同時生放送が実現。フェスタ実行委員、センター事務局員そして大和市民活動課職員女性の3名が市民活動センターで約10分の取材を受け、更に翌日には「FMやまと」のスタジオで実行委員2名が出演し、約20分間市民活動センターとフェスタの紹介をしました。この効果か? 「FMやまと」にて継続して活動紹介する時間枠をいただくことになりました。

およそ3ヶ月前からフェスタの具体化はスタート。ほとんどがボランティアで、日程調整しながら企画を練り上げて、参加団体等と協力して参加する人が個人レベルで楽しくなるような～ワタシを大事に～をテーマとして進めました。協力いただいた主な団体は、引地台中学校美術部、深見中原自治会、大和商工会議所そして地元商店会等で、いっつもながらありがたいことです。

参加団体(個人含む)は27団体で、区分けしてみると、体験型13、販売型3、展示型7、相談型4団体でした(右枠内参照)

11月3日(土)、4日(日)両日とも晴天に恵まれ、多数の来場者がありました。来場者は約1,500名(昨年5割増、出展者100名を含む)、クイズラリー参加者は559名、その内アンケート回答者は392名でした。クイズラリーに取組む親子の会話「何番はどこ」「あった、あった」、「君はどれが良かった」「何々」、「君はどう感じたの」「楽しかった」は家族の「なごみ」を感じました。会場内は来館者のわりに狭く、すれ違いも苦労する混雑でしたが、無事でした。2日間通して人気のイベントはICL(タオルと輪ゴムを使って、うさぎ、熊等の制作)、折り紙サークル(トンボやバッタの昆虫、コマ等)、法輪功(中国伝統舞踊、蓮華造形等)、やまとケナフの会(和紙作り)、ふくろう工房(タグ作り)そして、市民活動センター扱いとして、クイズラリー、アンパンマン風船。これら以外にも楽しんで頂けるイベントがたくさんありました。参加団体それぞれにイベントを盛り上げていただいたこと、協力団体や市民活動課のご支援に対し感謝いたします。また近々に反省会をもって来年度へ活かしたいと思っております。皆様お疲れ様でした。「来年はワタシも参加しよう！」(M.A)

## 参加団体

- 体験型:** ICL(インターナショナルコミュニケーション リンクス)、演劇やまと塾、カイロプラティック、ナチュラルボランティアグループ、折り紙サークル、やまとケナフの会、ふくろう工房、己気快会、てだのふあ泉の森オリエントミーの会、大人の絵本の読み聞かせ、法輪功、伊東芳郎(ドライフラー)
- 販売型:** 食のアトリエ、相模友の会、生き生きフォーラム2010、
- 展示型:** もったいないから温暖化を考える会、パパボラやまと、引地川水とみどりの会、引地川魚讀人と水援隊、憲法九条やまとの会、地球の木、樋口太郎(絵手紙)、
- 相談型:** ワーカーズコレクティブ想、ナルク横浜、みらい、県央マンション管理組合ネットワーク

やっぱり支えるのは熱意。いつもしつこく考え続ける。そして人と人とのネットワークでしょうか。

## 第6回 共育マネージメントセミナー

### 「イベント企画を成功させるコツのコツ」

お二人のゲスト＝**畠山 崇さん**＋**赤堀正己さん**(いずれも大和市役所職員)を迎えて11月27日(火)18:30～21:00 センター会議室にて実施

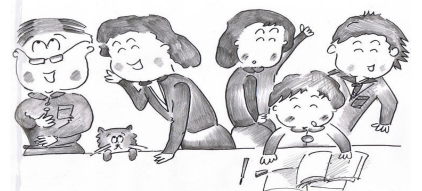
まず畠山さんから「セミのぬけがら鑑定士ができるまで」というお題で話していただく。畠山さんは大和市立病院で生まれた大和っ子だ。小さい頃は獣医になりたかった。大学では環境科学を専攻。「環境」で大和市に貢献しようと大和市の環境総務課の職員になる。環境省の2001年度「緑の国勢調査」に合わせて大和市も「セミのぬけがら調査」を市民環境調査事業として実施したときは、もうほんの数人しか市民は参加しなかった。翌年の'02年度のときは、なんと60人を超えた。このイベントの盛況を支えたのが切り口を転換したことだった。「セミのぬけがら調査員求む」ではなく、「セミの」とは言わず、「ぬけがら鑑定士を目指せ！大和市長が認定、認定証を授与します」の呼びかけだった。どうしたら「環境」に参加できて継続して取り組めるような仕掛けを提供できるか、詳しい人に聞き、やり方を変え。環境ボランティアの方に指導員として参加してもらう。少ない予算だったからかえって頭をひねることになり、やりくりしていると、いろんなアイデアが生まれてきた、と語ってくれた。

おいでおいで。  
課題をいっしょに  
解決する  
セミナーだよ。



次は「作詞家・阿久 悠追悼展」や「原爆詩の朗読会」を展開してきた赤堀さんには、学習センター事業のイベント企画から得た教訓を話していただく。「人は十人十色。このイベントには自分の人脈の中で、どの人とどの人を結びつければ企画がふくらむかを考える。また、一日のうち30分間考えることを習慣化する。そして思い付きをメモに残す。これの訓練しだいでアイデアがぐんぐん湧いてくる。またイベント最後に何に満足か、不満だったかのアンケートをとることも忘れずに。という指摘があった。

● 次回の「第7回連続共育マネージメントセミナー」は2008年1月下旬を予定。テーマは年度末が近づくころなので、手際のよい わかりやすい「決算書作成のコツ」。詳しいお知らせは次号の「あの手この手」、Web—Site等で。



# こんなにも「子ども」の守り手も装置もたくさんあるのに、 なぜ今、子ども受難の時代なんだろう。

かながわコミュニティカレッジ\*子ども支援者養成講座に参加しています。08/23~12/20 毎週木曜日 午前中全 18 回

いったいこの「カレッジ」ってなんででしょう。

去年度から神奈川県が試みに「県民の学びの場」としてスタートさせた仕組みです。都市化、少子高齢化が進行していくなかで地域にさまざまな課題が生じています。そうした地域の課題を解決し、元気で安全安心なまちをつくり、まちを活性化していく活動を行う人材の育成など目指し、実施。県と民間活動団体とがいっしょに開催していく「協働講座」の開催など新たな取り組みも始まります。

## 7、8月から3つの講座開講

「NPO マネジメント講座」「DV 被害者のための支援者養成講座」そして私が大和市民活動センターからの協働の拠点運営委員会研修担当として参加している「子ども支援者養成講座」があります。

## 毎週木曜日横浜通い

朝、9時30分までに横浜駅から徒歩5分ほど、ヨドバシカメラの裏手、かながわ県民センターの11F.の講習室に行きます。受講生は30名ほど。ほとんど女性。男性は私を含め3名。この講座の名目は「放課後児童クラブや放課後の居場所づくり事業など、小学生を対象に「子ども支援者」として活動するための知識を学ぶ」とありますが、実際の講習内容は乳児から高校生までが守備範囲。受講者の年齢幅は30~70歳台。乳幼児の子育て支援経験者から障害児教育を担っている方など多岐にわたっています。したがってそれぞれの現場からの質問も子どもの状況の説明も毎度、講師の講習以上にリアルだし、切実感があり、「なるほど」と参加者から学び、考えさせられることが多い。

講座全18回。既に11/15(木)で13回を終える。「講座参加優先」で今のところ全出席。講師陣は企画者側がよく吟味をし、検討を重ね、キャスティングしたと判断できます。

「今の子どもの状況と課題」ということでは、大和市も例外ではない「外国籍を持つ子どもたちのコミュニケーションのあり方」(09/06)や幼稚園・保育園でこの頃よく言われる「グレイゾーンの子どもとその保護者への対処」での現場の悩みが反映されているテーマ「軽度発達障害の基礎知識やその子ども、家族とのコミュニケーション」(09/13)、そして「深刻化している児童虐待から子どもたちをどう守るか」(11/01)など。

また、2回は聴講スタイルの教室から離れて、アウトドアが「教室」になった。今どき、子どもの「外あそび」がめっきり減っている時代だ。過度な安全安心志向が子どもを親の監視下に置きがちになり、ますます子どもは外にいくなくなる。野っ原で年の上下ある仲間とあそび尽くす、存分に腹を空かすまであそぶ経験と場所を大人が奪ってきているのではないかと、外あそびの



提案を横浜にある片倉うさぎ山プレイパークに出かけ、学ぶ。「子どもと遊びⅠ」(09/27)「子どもと遊びⅡ」(10/04)ではネイチャーゲームに受講者全員が参加。自然への感性や環境を大切に思う心を育てる方法を学んだ。

子ども受難の時代、小手先の技術や学びでは子どもは身も心も解放されないし、子どもの権利も保障されないと思いつつ、受講中です。

<記・研修担当/小杉 次号12号に続く>

## おしゃべりラウンジパルス

今日、いいことしましたか? 「いいことしたなあ」と自分をほめてあげること。この習慣を大切にするために、10月26日(金)の「おしゃべりラウンジパルス」では「いいことしたなあ」というエピソードをおしゃべりしました。「私はいいことなんて思いつかない」とおっしゃる方もいましたが、よくよく思い出してみるときつとどこかで人のためになることをしているのでは、とみんなであれこれ出し合ううちに、参加者の顔が明るくなっていきました。「おしゃべりラウンジパルス」での自己発見。日常の「いいこと」を積み重ねて自分自身の可能性を探してみては? (K.S.)

### \*次回は「介護って?」

日時: 12月8日(土)10:00~12:00  
場所: 大和市民活動センター 会議室  
参加費: 無料



冬の絵手紙



樋口太郎

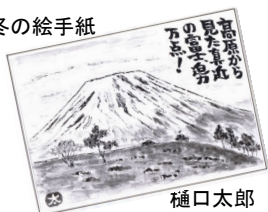
## 聞いて! 市民活動 FMやまと (77.7MHz) でPR中

去る10月25日(木)・26日(金)とも、FMやまと「AROUND TOWN」の中のコーナーに当センターの運営委員・サポーター・事務局が出演しました。初日は、メディアアッティ神奈川にも放送されるとのこと。それにも驚きましたが、携帯電話のカメラ機能を使ってテレビの中継ができるとはびっくり。声を録音して電波をとばす機械もコンパクトでした。取材、というと、大きな機械を想像する時代は古いのかもしれませんが。小さな機械でも、一人前の性能。集まったメンバー数名は感心しきりでした。

2日目は運営委員2名がスタジオに行き、見慣れぬ様々な機器がならぶスタジオでマイクに向かってパーソナリティ・ジョニ

ーさんの質問にお答えしながら話しました。市民活動センターは、たくさんボランティアさんの手に支えられていること、など、知っていただきたいことでありながら、なかなかお話する機会がない、そういう内容の話をさせていただくことができました。市民活動団体の活動にも、知ってもらいたいと思う大切なこと、だけど、なかなかそこまで広報することが難しい、そういうことが伝えられるといいですね。

今後は様々な団体の活動も紹介されていくようです。いざというとき、生活に必要な情報を教えてくれる地元放送局。普段から耳を傾けて、身近な存在にしておきたいと思いました。(Y.Y.)



樋口太郎

### 大和市民活動センター “ある日ある時”

●10月25日(木)晴れ  
「FM やまと」の追っかけ現わる！

生放送中にセンターの入り口ガラス越しにカメラをこちらに向けている人を発見。何してるの？と思った瞬間 SUNNY-SIDE MORNING 担当のジョニーさんが「この番組のリスナーさんです」と教えてくれた。放送終了後、中に入ってもらってコーヒーを飲みながらリスナーの正体を暴露していただいた。何と「先ほどのラジオの情報是我が送った情報です」と言うのです。まちを歩きながら情報を送り続けているとのこと。ある時、3日ほど情報提供がなかったのに、一人暮らしの彼が具合でも悪くしているのでは？とジョニーさんが携帯に電話しても何の応答もなかったのに、これでは出なかつたら警察に連絡して様子を見に行ってもらおうと、コールしたら、やっと出て、具合が悪くなっていたわけではなく、いつもと同じような情報提供しかできなかったのに、少し自重していたというわけです。なんとも心温まるいい話を聞いて、ローカルエリアラジオの良さを実感した次第です。

●10月27日(土)晴れ  
ジョイント成功！

「演劇やまと塾」の生い立ちから今日までの状況を映像化したいとの思いを聞いて、「引地川かわくだり」の様子を映像記録した野田さん(大和映像サロン)を紹介した。来年の舞台に向けて映像の記録が始まりました。

●11月6日(火)晴れ  
人材育成講習会

”ふくしの手全員集合“の人材育成講習会に参加しました。ボランティアってこんなものだ！「いっちょ、やって三日」の1日目に参加。住民流ボランティアを実践している講師の木原孝久さんから”日常生活の中の助け合い”の話聞いて、「たすけあい」は心の貸借対照表で、たすけるだけでなく、たすけられ上手になることが大事だということがわかりました。



### 街で見つけたよ！

- ・愛犬の いとしさ思えば フン始末
- ・だらしな いたの 不始末 愛犬の恥
- ・どうするの？ 手ぶらで散歩 フン始末
- ・あーらいやだ 私の飼い主 なさけない
- ・飼い主の 心が見えます フン始末
- ・犬のフン 道に落とすな 受け紙に
- ・フン始末 しないなら飼うな 恥を知れ



草柳自治会で募集した「ワンワンパトロール」の標語が草柳地区のあちこちに貼り出されています。飼い主のモラルを問う標語で、フン害が減ることを願うばかりです。

### 行ってきました！「NAZCA(ナスカ)」へ ～おいしく食べて国際交流 その2～

今回は本場ペルーの味を楽しむため「NAZCA」へ行ってきました。入り口を入るとそこは、大和で感じる異国の地。ペルー料理の代表「セビツェ」(魚介類のマリネ)や「パパ・ア・ラ・ワンカイナ」(じゃがいものクリームチーズかけ)をつまみにペルーのビールで「SALUD(サルルー)」(乾杯・健康を祝すとの意)。美味しい料理と美味しいビールで時間を忘れるほどおしゃべりにも花が咲きました。オーナーのリカルドさんは日本語がお上手。「エスニック・ねっと」(\*)を持参すると食事代金が5%OFF となりお得ですよ。今回はタイかベトナム、うーん韓国料理、どれも美味しそうで迷っちゃいます。これからもおいしい情報を楽しく伝えます。ご期待ください！(伝えているうちに体が成長・・・でもそんなの関係ねえ～?) (T.M.)

\*注「エスニック・ねっと」は、大和市民国際化協会やまと国際フレンド委員会が発行したエスニックな人の情報誌。センターにも置いてあります。ご利用ください。

場所：大和市大和東 3-10-2-B1  
TEL：046-262-2609  
営業：12：00～23：00  
定休日：水曜日



駅近くの信号、道向いのおばあさんが電柱に手をそえたまま倒れました。傍の男子中学生3人がすぐに支えて事無きを得ました。往来の車線側に倒れたらと思うとゾッとします。中学生の行動に感心しながら「あの手この手」の集まりに参加しました。(望月則男)

1年の締めくくりのカッコフェスタは私にとって初めての参加でしたが楽しく活動ができて有意義な2日間でした。市民活動の広報に係わったお陰と思っています。(浅見正明)

小生10月に高齢者前期ゾーンに参入。この大和市中で残された後半の人生をどう過ごすか。「あの手 この手」で人と自然に出会い続けることか。(小杉皓男)

### 熱血編集後記

眠い。これが最近のキーワードです。新しい環境に慣れず、体力を消耗しているからでもあります。毎日が成長の連続で、きちんと静と動のメリハリをつけるための合図のようにも思えます。眠くなることはいいことだ、と思っています。活動もメリハリが大事ですが、果たしてどこまで実現できているのやら。(鈴木幸輔)



フェスタも終わり、今年もあと少し。編集会議はとも楽しかった思い出。グループ再編のチャンスがきたら、みなさんもぜひどうぞ。手をあげてサポーターになって広報紙制作、楽しんでみませんか。(山田裕子)

公園や街路樹の紅葉が美しいですね。何かと忙しい12月、みなさま、風邪などひかれませんように。(中山みゆき)

\*市民活動センターのシンボル”イチヨウの木”が色付く季節です。用紙はイチヨウの色を用意しました。

発行日・2007年11月30日 第2刷2007年12月19日  
発行・大和市民活動センター  
開館・月～土 9:00～18:00

〒242-0021大和市中中央1-5-1  
TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788 (新設)  
e-mail: yamato@ar.wakwak.com URL: http://park23.wakwak.com/~youkoso/